

海外安全対策情報（平成29年度第2四半期（7月～9月））

在ベトナム日本国大使館

1 社会・治安情勢

- (1) 国家の統治及び社会秩序を不安定にするような暴動、テロ、大規模なデモなどの発生は確認されていない。
- (2) 殺人、強盗、麻薬の密輸、人身売買事案など重大凶悪事件の発生や検挙は当地マスコミ媒体などにより日々報道されている。在留邦人や邦人旅行者からは、スリや置き引きなどの窃盗を中心とした犯罪被害が当館に報告されており、一般治安状況については十分な注意を要する。
- (3) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事からハノイ市における犯罪発生状況、検挙状況等を抜粋したもの。（平成29年6月～8月実績）

【刑法犯関係】

- ア 刑法犯発生件数：1375件
- イ 刑法犯検挙件数：1070件
- ウ 刑法犯検挙人員：1550人

【薬物犯罪関係】

- ア 薬物犯罪検挙件数：754件
- イ 薬物犯罪検挙人員：925人

【交通事故関係】

- ア 事故発生件数：338件
- イ 事故死亡者数：140人
- ウ 事故負傷者数：235人

- (2) 邦人被害事案

- ア 6月下旬、ハノイ市内旧市街において、観光に訪れた邦人が、土産店で買い物をしようと気を取られている隙に、肩から掛けていたポシェット内から財布がいつの間にかすり取られる窃盗被害が発生している。
- イ 7月上旬、ハノイ市内において、在留邦人が住宅街の路上に車を駐車していたところ、窓ガラスとバックミラーが割られる器物損壊被害が発生している。
- ウ 8月下旬、ハノイ市内において、在留邦人が自宅に遊びに来ていたベトナム人女性に、同邦人が買い物に出かけている隙に、鞆の中に入れていた現金在中の封筒を盗まれる盗難被害が発生している。

- (3) 邦人以外の被害事案

- ア 7月、ベトナム外務省によると、フィリピンのイスラム過激派組織「アブ・サヤフ」に拉致されていたベトナム人船員1名が新たに殺害され、遺体がスルー諸島で発見された。またこれに先立つ数日前、同じく拉致されていたベトナム人船員2名も同組織に殺害された。同組織に拉致された船員6名のうち1名は救出

されて既に帰国しているが、合わせて3名が殺害され、残る2名は引き続き身柄を拘束されている。

イ 8月上旬、中国国境付近において、ベトナム人の少女2名（9歳と14歳）を中国に売り飛ばそうとした男女3人組が人身売買の容疑で逮捕された。容疑者らは少女2名をタクシーに乗せて中国へ向かおうとしたが、タクシー運転手が少女らの様子を見て不審に思い、地元警察へ通報したことから同事件が発覚した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件の発生については認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生件数（当館把握数）は0件であった。

なお、当地報道によれば当地報道によれば他国の企業に対するストライキなどの労使紛争は発生している。

6 その他

9月中旬、金の仏像を税関に無申告でベトナムから持ち出そうとした邦人2名の第2回公判が開かれ、密輸の罪として、それぞれ懲役10年、懲役8年の判決がなされ刑が確定した。